

国別研修「看護マネジメント」を実施しました



日本看護協会では福井トシ子会長がNursing Nowキャンペーンを紹介。ベトナムでも「看護の力で健康な社会を」実現したいと語る研修生たち



種田憲一郎先生（保健医療科学院）のファシリテーションで多職種連携をゲームを通じて学ぶ



静岡県がんセンターでは、講義だけでなく、自宅のような緩和ケア病棟、バラ園などのファシリティからも、ケアの在り方を学修

北里大学では老年看護学演習を体験。高齢者の心身の課題を「自分ごと」として捉えることで、ケアの在り方、人材育成の方向性を再考する機会に



修了式にはJICA本部から、保健第2グループ第3チーム衣斐友美課長、相賀裕嗣専門員らが参加。研修生の具体的なアクションプランに帰国後の活躍が期待される

5月27日から6月5日、JICA横浜を基点に、保健医療行政職（中央・省）および病院看護管理者の研修マネジメント能力の強化を目的とした国別研修を実施し、臨床研修のほかベトナムの看護師の現任教育に関わる、保健省科学技術訓練局職員、パイロット省の保健局および病院の看護管理者など計12名が参加しました。

研修では、本プロジェクトのスコープである臨床研修に限定せず、病院、大学、行政、職能団体の関係者との意見交換や視察を通じ、人材育成における看護部や保健行政部門の機能や役割、関係機関との連携の在り方などについて学びました。また、ベトナムが近く直面すると予測される、終末期医療のニーズ、高齢化などの健康課題を見据えた人材育成の在り方を検討することができました。

最終日には、研修中の学びを反映させた自組織の人材開発のビジョン、戦略、計画を発表し、修了しました。各自の計画はプロジェクトの成果3に関連する内容となっており、研修生のアクションプランを側面的に支援することにより、プロジェクトの成果の発現に寄与するものと考えます。

スケジュール

| 日 目 | 主な内容 | 視察先・講師派遣元等 |
|-----|---|--------------------------------------|
| 1 | 看護師の継続教育と看護協会の役割 | 日本看護協会 |
| 2 | 医療安全と多職種連携教育（ワークショップ） | 国立保健医療科学院 |
| 3 | コンピテンシーに基づく院内教育（新人看護師研修見学等）、看護部の機能と役割 | 北里大学病院 |
| 4 | 組織間連携による看護職教育、大学における看護学教育の実際（多職種連携教育、高齢者体験、防災訓練への参加等） | 北里大学看護学部 |
| 5 | 院内教育、緩和ケア、在宅支援、医療連携 | 静岡県がんセンター |
| 6 | 県における看護職人材育成の概要と実施体制（県・大学・看護協会の連携）市が行う地域保健活動 | 静岡県看護協会 静岡県地域医療課 静岡県立大学 掛川市 |
| 7 | アクションプラン発表会 修了式 | JICA本部 プロジェクト |